



競技も応援も頑張りました。八代中体連駅伝競走大会！

10月16日(木)、県営八代運動公園陸上競技場周辺コースにおいて、八代中体連駅伝競走大会が実施されました。天気予報では曇一時雨でしたが、朝から晴れており気温も30℃を超える厳しい気象条件の中、女子が10時にスタートしました。女子は5区間(1区と5区が3km、2~4区が2kmの全12km)のコースで実施されました。1区に2年木村心咲さん、2区に3年坂田蒼さん、3区に2年中村李々華さん、4区に2年藤原瑞希さん、5区に2年水上葉利さんが出場しました。結果は14位でしたが、最後まで全員が走り抜きタスキをつなぐ姿に感動しました。その後、男子が11時20分にスタートしました。男子は6区間(すべて3kmの全18km)のコースで実施されました。1区に2年山崎莉生さん、2区に2年池田圭吾さん、3区に3年小林倭雄さん、4区に3年小林零雄さん、5区に1年藪内悠和さん、6区に2年上田海成さんが出場しました。結果は9位でしたが、昨年が12位で3つ順位をあげる大健闘でした。4つ順位を上げた二中に惜しくも躍進賞はもっていかれましたが、全員が一生涯懸命前に追いつこうと素晴らしい走りを見せてくれました。



また、これまで一緒に練習を頑張ってきて、今回出場することができなかった生徒たちも、出場した選手のサポートと応援を精一杯やっている姿に、チーム八中の団結力を垣間見ることができました。

夏休みから約3ヶ月間にわたる練習に、精一杯取り組んできた生徒たちに心から賛辞を送りたいと思います。本当によく頑張りました。この経験を是非次の活動に生かして欲しいと思いますし、1、2年生のメンバーは来年の駅伝大会で、今年以上の成績を目指し頑張りたいと思います。



福祉講話「地域の中でともしながり、学びあい、育ちあう」



本校では毎年3年生の総合的な学習の時間を使って、福祉講話を実施しています。今年は10月3日に行いました。講師として、地域にある「とら太の会」代表の山下順子さんに講話をしていただきました。

この福祉講話は、障がいのある・なしに関わらず、ともに生活している方々の生き方に出会い、地域とのつながりを考え、人権のまちづくりをしていくための担い手の一人であることを自覚する事を目的に実施しています。山下さんからは、「無知・無関心が差別を生む」「関わり合いの中で障がいの垣根がなくなっていく」「地域との共生社会を大切にしている」など、これまで山下さん自身が活動を通して、体験されたこと、感動されたことなど貴重なお話をお聞きすることができました。講話のあと、生徒からもたくさんの質問や感想も出され実り多き時間となりました。

保育実習「幼児とのドキドキワクワクふれ合い体験」

10月22日(水)、3年生の家庭科授業の一環で保育実習を実施しました。目的は、幼児を観察したり、遊んだりするなどの直接的な体験を通して、幼児の発達状況や生活の様子、興味・関心に応じた関わり方を検討できるようになることです。当日は、本校近くにある宮地さくら保育園に出向き活動を行いました。今年は、ありんこ園(とら太の会)からも年長組さんも一緒に参加しました。初めに、保育園の先生から園児との接し方や、遊戯タイムでの注意点の説明を聞いた後、いよいよ園児との交流活動を行いました。最初は遠慮がちだった中学生も、しだいに緊張感がとれたのか笑顔で園児たちと楽しそうに活動していました。

